

光回線サービス利用説明会のご案内

今年度中に光回線サービスを希望される全ての方々の地域まで回線が網羅するよう整備しており、令和4年度には各ご家庭で利用できるスケジュールを進めています。サービス利用を始めるにあたり、「どのサービスを利用したらよいかわからない」、「怪しい業者からの連絡が怖い」といった不安に応えるべく、名寄・風連・智恵文地区の各3地区(4会場)で、回線事業者からサービス利用についての説明会を実施してもらうことといたしました。この説明会では、利用形態や料金など質問を随時受け付けしており、いつでもご来場できます。各事業者からの説明をご自身でお聞きいただき、最適なサービスを選べる場となれば幸いです。

問い合わせ デジタル推進担当(名寄庁舎4階) ☎01654③2111(内線3400)

会場	時間	10月27日(水)	10月28日(木)	10月29日(金)	10月30日(土)
駅前交流プラザよろーな 1階 中会議室A	10:00 ~15:00 のうちご都合の いい時間にお越 しください	KDDI			
駅前交流プラザよろーな 1階 会議室2			ソフトバンク	docomo	
ふうれん地域交流センター 3階 大会議室			docomo	KDDI	ソフトバンク
J A道北なよろ智恵文支所 2階 会議室		docomo	KDDI	ソフトバンク	

COLUMN*

VOL.50

なよろっぽい家づくりの会

住まいの省エネ・エコについて③

前回に引き続き、高日射反射率の高い屋根用塗料を紹介します。

皆さんが屋根を選ぶときには、性能や耐久度などを考えられると思いますが、やはり色も重要かと思えます。この屋根用塗料の色と熱の関係は、一般の塗料と比較すると、どの色であっても発熱を伴ってしまう赤外線をよく反射させますが、反射率は色によって違いがあります。反射率は、暗く濃い色である程低くなり、明るく薄い色程高くなります。遮熱塗材と言っても濃い色の場合は、一般の白系塗料の方が遮熱性が高くなる事もあり、色選びが大きく影響するので慎重に決める必要があります。しかし、色選びは景観を無視したり、外壁との釣り合いも考慮しなければなりません。特に、住宅地帯においては、明るく薄い色の方が反射性は高いと分かっているにもかかわらず、総合的に景観の乱れを考えたとき、せいぜい中間色と言った所でしょうし、そうなるとこの高日射反射率塗料が優れます。ちなみに、反射率を比較すると ↗

<暗い色>

一般塗料 10%未満、高日射塗料 40%~50%

<中間色>

一般塗料 30%未満、高日射塗料 70%以上

<明るい色>

一般塗料 80%未満 高日射塗料 90%

また、メーカーの実証試験データ(関東地域)では、試験建物は鉄骨造300㎡、室内容積2,400㎡、屋根⑦0.4m/mの鋼板葺きの上にナスコン色(黒系の濃い色)塗布、裏側、結露防止⑦4m/m、外壁ALC版⑦120m/m、内壁PB⑦12m/mで冷房は8:00~17:00で室温28℃を越えた場合のみ移動で、1年間の電気料が¥206,516円⇒¥114,778円、CO₂排出量も1198.8kg⇒666.3kgと共に44.4%の削減となりました。



■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)
☎01654⑨6711